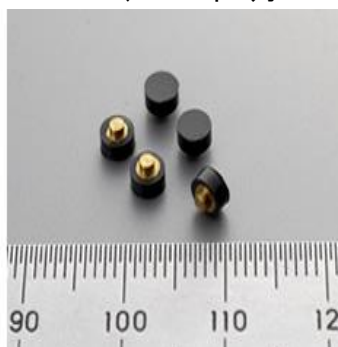


高石工業株式会社

2022年度環境経営レポート



(2022年4月～2023年3月)



作成日： 2023年5月1日

口ごあいさつ

弊社は2018年4月に創業70周年を迎えました。これからも持続的成長を目指す弊社にとって、環境的側面を考慮することは必須であると考えます。経営理念の「三方よし」の「世間よし」の考え方にに基づき、「人にやさしく、地球にやさしい」企業であるための取り組みを行います。

高石工業株式会社
代表取締役 高石 秀之

<環境理念>

当社はかけがえのない地球環境を次の世代に伝えていくことを重要課題の一つとして認識し、工業用精密ゴム部品製造・研究開発事業活動において「地球にやさしく、人にやさしく」を企業活動の基本として行動します。つきましては、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応により環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。



<環境経営方針>

当社は、工業用精密ゴム製品の開発・設計・製造・販売を通じて、社会に貢献している。当社の事業活動及び製品が及ぼす環境への影響を常に認識し、汚染の予防と環境負荷の低減に努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・電力（工場、事務所）
- ・自動車燃料（営業車）



② 廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

- ・一般廃棄物
- ・産業廃棄物（廃プラ）



③ 排水量の削減（水資源の保全）

- ・一般水道水
- ・地下水



④ 製品への環境配慮

- ・製品への環境配慮（RoHS指令物質の不使用の確認・検査数の確認）
- ・配合薬品の環境配慮
- ・工程内で発生する不良の削減
- ・環境対応製品の販売



⑤ 化学物質の管理

- ・PRTR該当物質の管理



⑥ 地域環境への取り組み

- ・（地域）貢献事業への積極的参加



2. 当社に適用される環境に関する法規則及び同意するその他の要求事項を遵守します。

3. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底し、全員参加で実施、維持します。

4. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年11月11日

改定日：2021年3月4日

代表取締役 高石 秀之

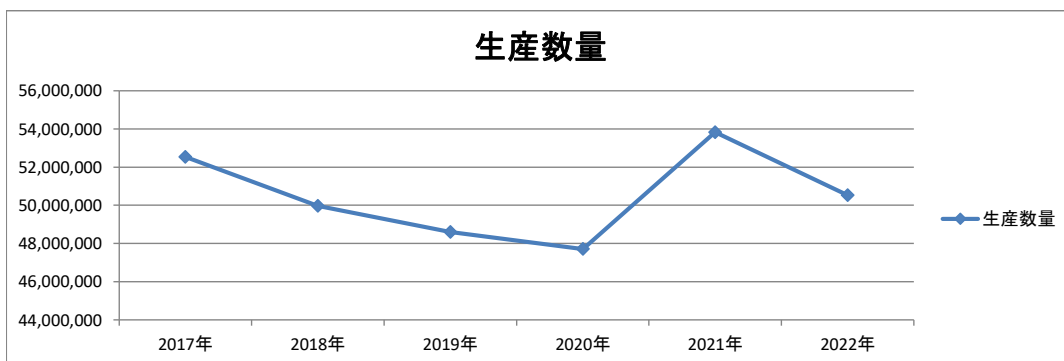
□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
 高石工業株式会社
 代表取締役社長 高石 秀之
- (2) 所在地
 本 社 大阪府茨木市主原町3番18号
 鳥取工場 鳥取県鳥取市湖山町東4丁目43番地
 山崎工場 兵庫県宍粟郡山崎町段815
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 総務部部长 高石 純二 TEL:072-632-3595
 担当者 総務部部长 高石 純二 TEL:072-632-3595
- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)
 工業用精密ゴム製品製造
- (5) 事業の規模

	本社	鳥取工場	山崎工場
従業員(2014年10月31日)	36名	34名	8名
従業員(2023年3月31日)	43名	35名	13名
延べ床面積	1739.17㎡	1314㎡	553㎡

主要製品生産数量(個)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
生産数量	52,534,428	49,962,356	48,605,376	47,707,502	53,831,732	50,524,748



(6) 事業年度 4月～3月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：

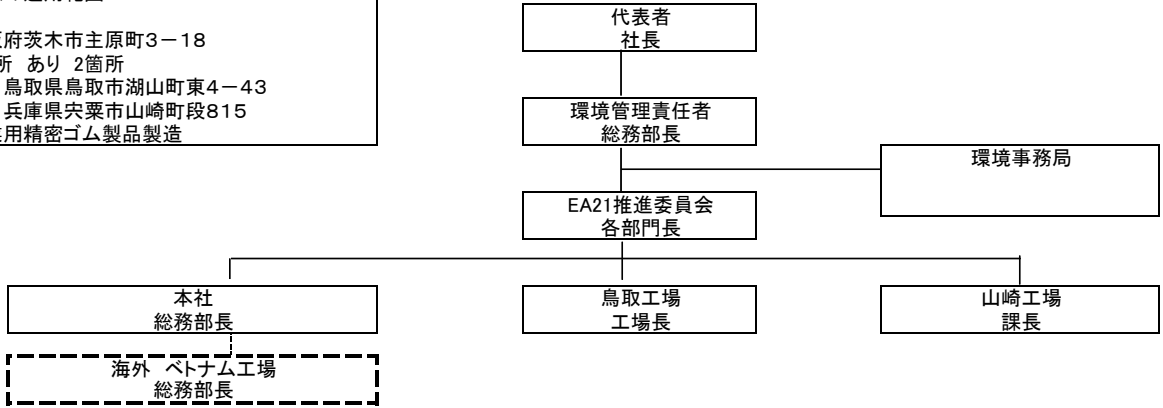
高石工業株式会社
 本社・大阪工場
 鳥取工場
 山崎工場

活動：

工業用精密ゴム製品製造

高石工業株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表

認証・登録の適用範囲
 住所
 本社：大阪府茨木市主原町3-18
 関連事業所 あり 2箇所
 鳥取工場：鳥取県鳥取市湖山町東4-43
 山崎工場：兵庫県宍粟市山崎町段815
 活動：工業用精密ゴム製品製造



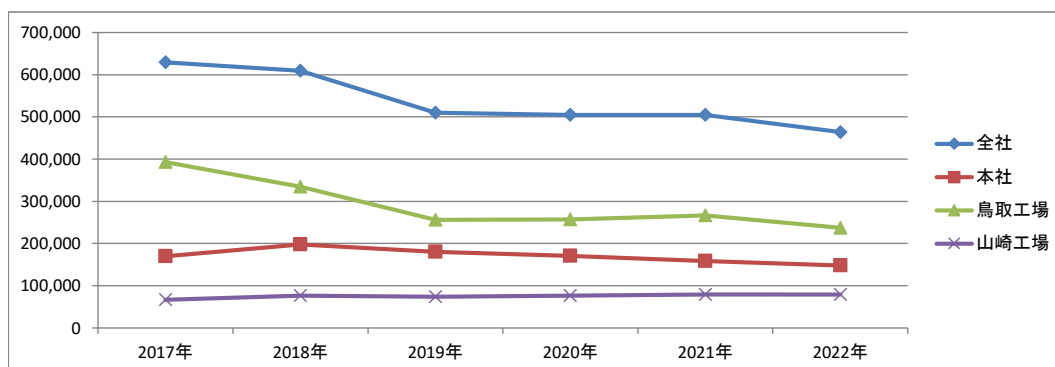
	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績(GO2 kg)

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	629,332	609,205	509,707	504,614	504,998	464,159
本社	169,524	197,813	180,121	170,440	158,961	148,024
鳥取工場	393,031	335,000	255,804	257,182	266,750	237,328
山崎工場	66,777	76,392	73,782	76,991	79,287	78,807

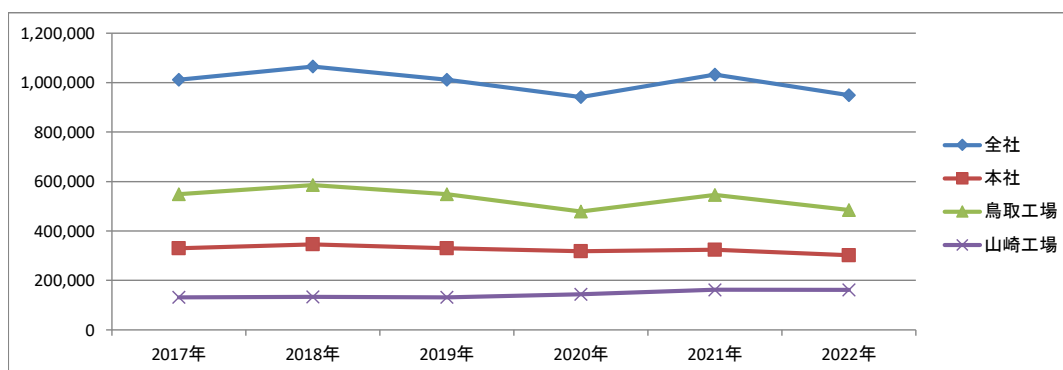
電力の排出係数は0.479 kg-CO2/kWhを使用。

*エナリスパワーマーケティング (A0153) 2017年度の調整後排出係数を使用



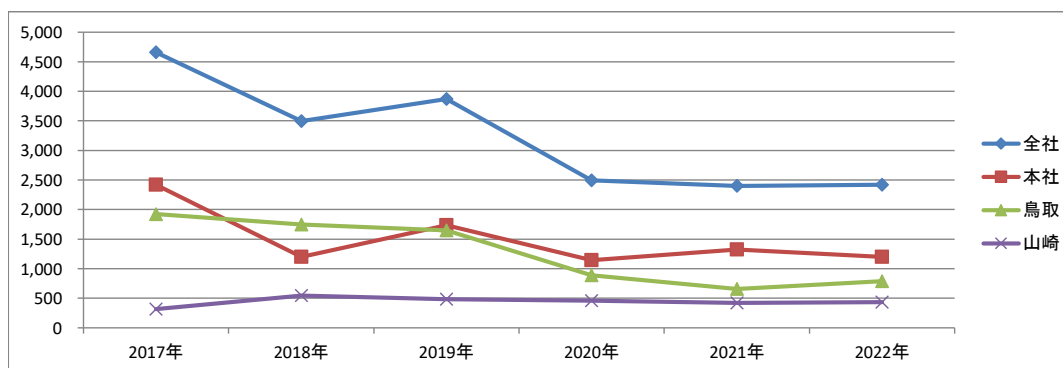
□主な環境負荷の実績(電力 kWh)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	1,011,598	1,065,044	1,011,597	941,623	1,032,836	948,889
本社	330,671	345,826	330,671	318,883	324,017	301,929
鳥取工場	549,411	585,665	549,411	478,808	546,260	484,820
山崎工場	131,516	133,553	131,516	143,932	162,559	162,140



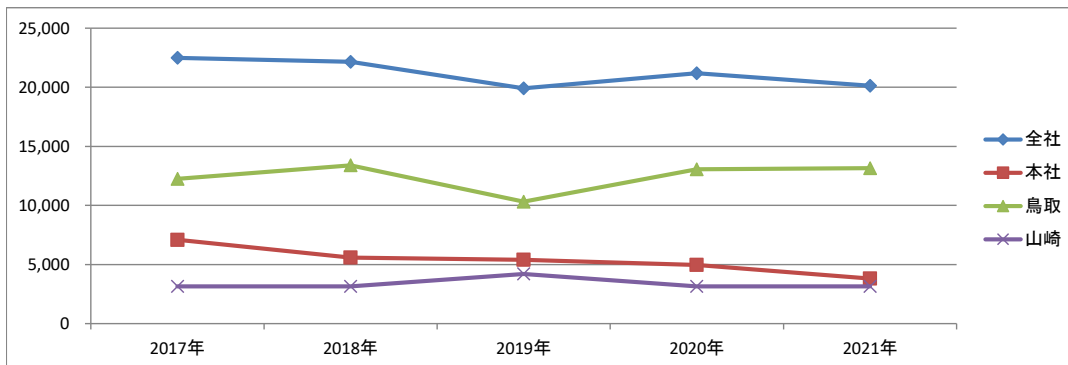
□主な環境負荷の実績(ガソリン ㍓)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	4,659	3,495	3,867	2,497	2,399	2,420
本社	2,418	1,200	1,732	1,144	1,324	1,199
鳥取	1,924	1,750	1,649	891	657	787
山崎	317	545	486	462	419	434



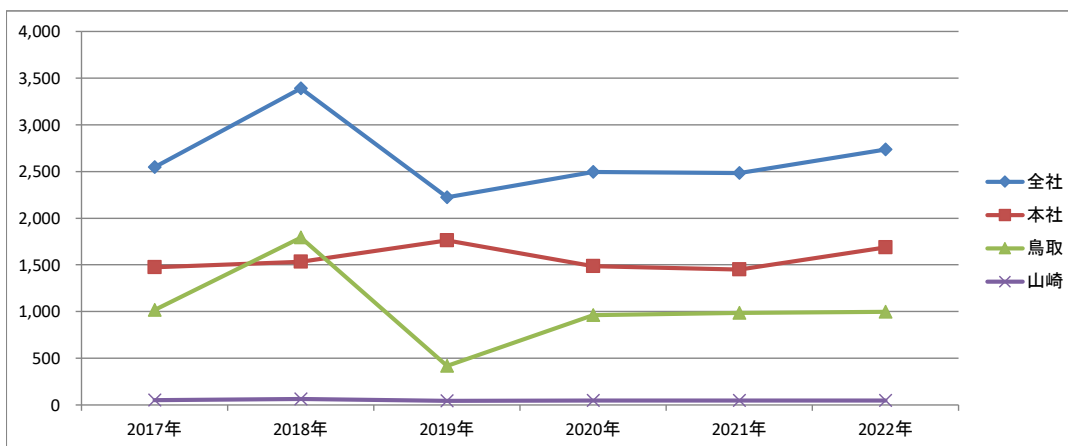
□主な環境負荷の実績(産業廃棄物排出量 kg)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	22,485	22,140	19,910	21,174	20,120	18,810
本社	7,095	5,600	5,390	4,954	3,810	4,500
鳥取	12,240	13,390	10,320	13,070	13,160	11,160
山崎	3,150	3,150	4,200	3,150	3,150	3,150



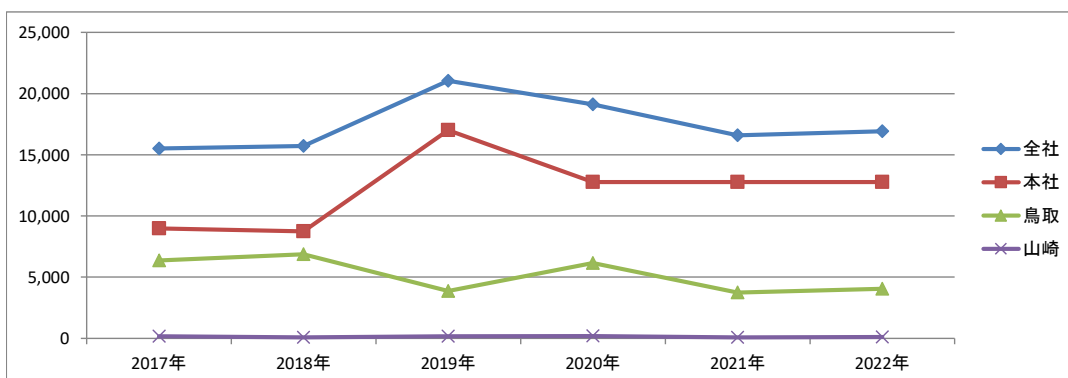
□主な環境負荷の実績(一般廃棄物排出量 kg)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	2,545	3,390	2,224	2,494	2,482	2,734
本社	1,476	1,534	1,762	1,486	1,450	1,688
鳥取	1,018	1,792	418	960	984	998
山崎	51	64	44	48	48	48



□主な環境負荷の実績(総排水量 m³)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全社	15,514	15,707	21,046	19,123	16,598	16,928
本社	8,983	8,743	17,007	12,772	12,772	12,772
鳥取	6,359	6,872	3,870	6,161	3,743.8	4,048
山崎	172	92	169	190	82.2	108



□環境経営目標及びその実績(全社)

項目 \ 年度		2017年度	2022年度			2023年度	2024年度
		(基準年度)	(目標)	(目標) 生産量ベース	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
基準年度との生産量比 (個)		52,241,239	-		50,524,748 97%	-	-
電力の削減	kWh	1,011,598	961,018 95%	929,442	948,889 94%	961,018 95%	961,018 95%
ガソリンの削減	L	4,660	4,427 95%		2,420 52%	4,427 95%	4,427 95%
産業廃棄物(廃プラ)の 削減	(Kg/年)	22,485	21,361 95%	19,626	18,810 84%	21,361 95%	21,361 95%
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	2,880	2,736 95%		2,734 95%	2,736 95%	2,736 95%
節水	(m ³ /年)	2,581	2,452 95%		2,177 84%	2,452 95%	2,452 95%
製品への環境配慮 ROHS指令物質の 検査回数(顧客 要請による)		6	9 150%		13 217%	9 150%	9 150%
配合薬品の環境配慮			1 -		2 -	2 -	2 -
工程内で発生する不良の 削減	個	504	302 60%		236 47%	302 60%	302 60%
環境対応製品の販売	円	3,557,000	5,335,500 150%		5,482,550 154%	7,114,000 200%	10,671,000 300%

※・・・目標の生産量ベースとは、目標に基準年度との生産比率を乗じたもの

□環境経営目標及びその実績(本社)

項目 \ 年度		2017年度	2022年度			2023年度	2024年度
		(基準年度)	(目標)	(目標) 生産量ベース	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
基準年度との生産量比 (個)		11,557,683	-		11,197,628 97%	-	-
電力の削減	kWh	330,671	314,137 95%	304,351	301,929 91%	314,137 95%	314,137 95%
ガソリンの削減	L	2,418	2,297 95%		1,199 50%	2,297 95%	2,297 95%
産業廃棄物(廃プラ)の 削減	(Kg/年)	7,095	6,740 95%	6,204	4,500 63%	6,740 95%	6,740 95%
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	1,476	1,402 95%		1,688 114%	1,402 95%	1,402 95%
節水	(m ³ /年)	887	843 95%		918 103%	843 95%	843 95%

□環境経営目標及びその実績(鳥取)

項目 \ 年度		2017年度	2022年度			2023年度	2024年度
		(基準年度)	(目標)	(目標) 生産量ベース	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
基準年度との生産量比 (個)		34,448,656	-		30,987,733 90%	-	-
電力の削減	kWh	549,411	521,940 95%	469,503	484,820 88%	521,940 95%	521,940 95%
ガソリンの削減	L	1,925	1,829 95%		787 41%	1,829 95%	1,829 95%
産業廃棄物(廃プラ)の 削減	(Kg/年)	12,240	11,628 95%	9,937	11,160 91%	11,628 95%	11,628 95%
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	1,018	967 95%		998 98%	967 95%	967 95%
節水	(m ³ /年)	1,545	1,468 95%		1,178 76%	1,468 95%	1,468 95%

□環境経営目標及びその実績(山崎)

項目	年度	2017年度	2022年度			2023年度	2024年度
		(基準年度)	(目標)	(目標) 生産量ベース	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
基準年度との生産量比 (個)		6,234,900	-		8,339,387 134%	-	-
電力の削減	kWh	131,516	124,940 95%	167,112	162,140 123%	124,940 95%	124,940 95%
ガソリンの削減	L	317	301 95%		434 137%	301 95%	301 95%
産業廃棄物(廃プラ)の削減	(Kg/年)	3,150	2,993 95%	3,802	3,150 100%	2,993 95%	2,993 95%
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	51	48 95%		48 94%	48 95%	48 95%
節水	(m ³ /年)	149	142 95%		81 54%	142 95%	142 95%

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容(全社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度及び目標は削減できたが、原単位評価は達成できなかった。 生産数量は減っているが売り上げは2017年度よりも増えているので製品の大型化も影響している。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
ガソリン使用量の削減 数値目標 エコドライブ [※] 運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	◎ ○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、外出機会が減ったこともあり、大幅にガソリン使用料は減っている。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
産業廃棄物(廃プラ)の削減 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標・原単位評価の目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
一般廃棄物の削減 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標は達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
節水 数値目標 ・節水の呼びかけ	○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
製品への環境配慮 数値目標 RoHS指令物質の不使用の確認 RoHS指令物質の検査回数確認	◎ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
配合薬品の環境配慮 数値目標 環境に配慮した配合薬品への変更及び環境に配慮した配合の新規開発	◎ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度目標は据え置く。
工程内で発生する不良の削減 数値目標 重欠点不良を減らす。 不良率と不良個数が多い作業には、個別に各現場管理者から指導をする。 重欠点不良は、別のエクセルで監視	◎ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
環境対応製品の販売 数値目標 耐水素用ゴムの量産売り上げ拡大	○ ◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組み内容(本社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	○ ○ ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標・原単位評価の目標のすべてを達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
ガソリン使用量の削減 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	◎ ○ ○ ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
産業廃棄物(廃プラ)の削減 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	◎ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標・原単位評価の目標のすべてを大幅に達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
一般廃棄物の削減 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	× ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
節水 数値目標 ・節水の呼びかけ	× ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組み内容(鳥取)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	○ ○ ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標は達成したが、原単位評価の目標は達成できなかった。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
ガソリン使用量の削減 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	◎ ○ ○ ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 会議でのリモート参加OKの意識が定着したため車での移動が減少し、基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
産業廃棄物(廃プラ)の削減 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標は達成したが、原単位評価は達成できなかった。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
一般廃棄物の削減 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	△ ○ ○ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度は達成、目標は達成できなかった。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
節水 数値目標 ・節水の呼びかけ	◎ ○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し □変更無し 基準年度・目標をともに達成できた。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組み内容(山崎)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評 価 (結果と今後の方向)
電力の削減 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	△ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標は達成できなかったが、原単位評価の目標は達成した。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
ガソリン使用量の削減 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	× ○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
産業廃棄物(廃プラ)の削減 数値目標 裁断重量幅の低めで裁断	△ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 目標は達成していないが、基準年度・原単位評価は達成した。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
一般廃棄物の削減 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標ともに達成した。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。
節水 数値目標 ・節水の呼びかけ	◎ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 基準年度・目標ともに達成した。 次年度の目標は2021年度を基準年として見直す。

□環境関連法規制等の順守状況(全社)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音規制法、振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン排出抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油
PRTR法	N-シクロキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド、テトラメチルチアムジスルフィド、トルエン、フタル酸ビス
下水道法	排水基準の順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

□環境関連法規制等の順守状況(本社)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音規制法、振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン排出抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

大気汚染防止法の立ち入り検査があり書類の不備が指摘されましたが、すでに手続きは完了しました。

なお、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

□環境関連法規制等の順守状況(鳥取)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
フロン排出抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

□環境関連法規制等の順守状況(山崎)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- 使用電力について。削減に努めているが原単位評価では目標に達せずも、全社での基準年度比の削減目標は達成できた。
太陽光パネルを設置するとともに、しろくまパワーの活用で再生可能エネルギー100%となっており、実質的にCO2排出はゼロとなっている。
中小企業としてのアピールポイントにもなるので、この活動を続けていきたい。
- 自動車燃料については新型コロナウイルスの影響か、目標を大幅にクリアしている。
今後新型コロナウイルスが一段落しても、燃料電池車「MIRAI」を活用して、さらにCO2排出削減に努めたい。
- 産廃・一廃・節水・不良の削減については目標を達成できている。引き続き削減・配慮に努めたい。
- 製品への環境配慮・化学物質の環境配慮については主原料・薬品の変更があり、その対応を通して目標値をクリアしている。引き続き対応していきたい。
- 環境対応製品の販売については耐水素用ゴムの拡販を進めており、目標達成できた。引き続き対応製品の売上増加に努めたい。
- これまで基準年を2017年度としてきたが、目標値と実績値が乖離している項目も出てきているので、基準年を2021年度に変更する。
- 認証取得以来10年以上このEA21を維持してきた。SDGsとも親和性の高いマネジメントシステムなので、「環境経営」の視点を取り入れている。
会社全体の年度計画にも「水素・環境・海外対応」というテーマを設けている。
「三方よし」の経営理念に加えて「環境よし」の活動を進めることで、一層経営面での「未来よし」につながるようにしたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/>	変更なし	<input checked="" type="checkbox"/>	変更あり	基準年度を2021年度に変更する
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり	

□その他の取り組みを紹介

コロナ禍のため、参加者数は少なかったですが、2022年度もゴム製造体験に来社いただきました。



高圧電力については2022年10月からしろくま電力を利用することにより、再生可能エネルギー100%となり、また、2023年2月に本社、3月に山崎工場に自家発電用太陽光発電システムを導入し、電力に関しては二酸化炭素排出は現時点でゼロになりました。

